



未来へつなぐ

Vol.

174



文／本間 吾里砂

北海道新幹線の札幌延伸を見据え、JR札幌駅高架化以降、初のリニューアル
南側商業施設の面積を約二倍に拡大し、明るく使いやすい空間へ

札幌駅の改修コンセプト

『サツエキ×ヒトトキ』

一九八八年の高架化から三
五年以上が経過し、設備が老
朽化してきたJR札幌駅。現
在、北海道新幹線の札幌延伸
工事が進んでいることもあり、



駅舎北側外観イメージ

JR北海道では、北海道の新
たな玄関口としてふさわしい
駅を目指し、札幌駅全体をリ
ニューアルする計画を打ち出
しています。

改修工事は今年度六月か
ら段階的に取り組んでおり、
デザインコンセプトは『サツエ
キ×ヒトトキ』。駅を訪れる人
(ヒト)の時間(トキ)を憩える
(ヒトトキ)空間となるよう、
札幌駅北側の外壁をガラス張
りとし、ホームから駅前の広
場を眺められるデザインとし
ます。一階はレンガの暖かみを
感じさせる滞留空間とする
ため、広場との一体感が創出さ
れるほか、新幹線と接続する
ホーム階は、新幹線駅と連動
したデザインとします。また、
改札内に二カ所あるトイレは
一カ所へ集約。男女両方に子供
用トイレを新設し、男性トイ
レにもパウダーコーナーを設
置します。

『エキナカ』の面積が二倍

北海道の魅力を発信

現在小規模店舗が分散し
て配置されている駅構内につ
いて、改札口南側に、いわゆる
『エキナカ』商業施設として北
海道の魅力を提供する店舗
を集積。これまでの約二倍の
面積を確保し、駅および地域



札幌駅在来線商業施設イメージ

のにぎわいを体感できる空間
となります。

具体的な内容はこれから
検討していくことですが、
お客様が使いやすいだけ
でなく、駅社員が働きやす
い空間となるよう、駅機能
の再配置を予定しています。
スケジュールとしては、今
年度六月から駅北側の改良
と、改札内トイレの改修工
事をスタート。続く翌二〇
二五年度からは駅機能の再
配置、二〇二七年度からは改
札口南側の商業施設リニ
ューアルが始まります。今
年度中にトイレの改修が終
わるのに続き、順次工事の
完了を予定しており、二〇
二八年度中には札幌駅の
大規模リニューアルが完了
する見通し。

明るく、使いやすく快適な
駅になるということで、どん
な駅が誕生するか大きな期
待が寄せられています。